**2022年度****大学の国際化促進フォーラムプロジェクト**

**「COILを活用した持続的グローカル・イノベーション人材育成プロジェクト」事業**

**南山大学との学生交流プログラム　募集要項**

　文部科学省では、国際化を牽引する大学の多様な実績の横展開・連携を強化する環境を整備し、高等教育の更なる国際通用性・競争力の向上の実現を図ることを目的として、2021年度より「大学の国際化促進フォーラム」を形成し、大学の世界展開力強化事業採択校等が参加してプロジェクトを展開しています。

　本学が幹事校として取り組む、大学の国際化促進フォーラム「COILを活用した持続的グローカル・イノベーション人材育成プロジェクト」事業に南山大学（愛知県）が連携校として参画しています。本事業の一環として、持続的社会実現、島嶼地域の課題解決の認識共有や特定したテーマについて南山大学と本学との学生交流事業を実施します。

**１　募集対象の派遣先大学及び派遣人数**

南山大学（愛知県名古屋市）とし、派遣人数は５～7名。

**２　派遣期間（予定）**

３日間（２０２３年２月１９日（日）から２月２１日（火）まで）

**３　対象者**

派遣時に本学に在学している（休学等をしていない）正規学部学生１年次～４年次

（2023年3月卒業予定者を除く）

**４　履修科目及び単位付与**

本プログラムに参加する学生は「グローカル実践研修」（１単位）を登録し、プログラム修了後、プログラム担当教員が評価し、単位を付与します。事前事後学習及びプログラム後の提出書類（レポート含む）があることを了承の上、応募してください。ただし、既に当該科目を履修済みの者は本科目への登録は原則認められないが、参加を希望する者は「１４　問合せ先」に問い合わせください。

**５　派遣プログラム概要（予定）**

**Ⅰ プログラム内容 （派遣期間中）＊以下のプログラム予定表も参照のこと。**

（１）派遣地域に関する理解を深める学習（地域経済、先端技術等）

（２）地域課題についての学習（講義、フィールドスタディ等）

（３）南山大学学生との交流

（４）名古屋市内の企業訪問

**Ⅱ 事前学習**

以下のプログラム予定表に記載された事前研修に参加し、出発前に以下（１）～（４）の事前学習を行うこと。

（１）オリエンテーション

（２）派遣地域（愛知県）についての事前学習

（３）沖縄の歴史、文化、政治、経済についての事前学習

（４）オンラインによる交流プログラムの効果測定調査（BEVI\*）への回答

\*BEVIとは、回答者の基本的な開放性、他人をステレオタイプ化する（しない）傾向、自己及び感情認識、異文化体験の影響による参加者の変化を測定するオンラインアセスメントツールです。

**Ⅲ 事後活動**

（１）プログラム後、１週間以内にレポートを提出すること。

（２）ホームページ、SNS等による体験談等情報発信

　（３）プログラム修了直後と修了2-3ヶ月後にオンラインによる交流プログラムの効果測定調査（BEVI）への回答

|  |  |
| --- | --- |
| **プログラム予定表**※予定、若干の変更あり | |
| 日付 | 内容 |
| 2月上旬 | 事前研修　　オリエンテーション、講義受講 |
| 2月19日(日) | 那覇空港出発－名古屋到着 |
| 2月20日(月) | 学生交流、レクチャー①持続型社会（国際教養学部 篭橋先生）、企業訪問 |
| 2月21日(火) | レクチャー②多文化コミュニケーションとビジネス（総合政策学部 オコネル先生）  南山大学キャンパスツアー、企業訪問  名古屋－那覇空港到着・解散 |
| 2月下旬以降 | 事後活動　　研修報告書の作成・提出 |

**６　参加条件**

以下（１）～（８）全ての条件を満たす者。

（１）本事業の趣旨・目的を理解し、それに沿った活動ができる者。

（２）派遣対象地域に興味・関心があり、同地域について学ぶ意欲があり、積極的に交流し、コミュニケーションをとることができる者。

（３）規律ある団体行動ができる者。

（４）プログラム担当教員・担当職員の指示に従うことができる者。

（５）事前・事後学習を含め、全てのプログラムに参加できる者。

　　　※事前学習を無届欠席した場合は、派遣を認めないので留意すること。ただし、体調不良など相応の理由があり届出欠席した場合は、適宜、補講等を受講すること。

（６）所定の申請書類等に必要事項をもれなく記入し、以下に記載の＜留意事項等＞に従える者。

（７）プログラム後にレポート提出をもって単位認定を受ける意思のある者。

（８）プログラム後も本事業への参加協力要請に対し、積極的に貢献する意思のある者。

＜留意事項等＞　※以下の情報は変更される事があります。

・出発前の１４日間、屋内での大規模集会への参加を自粛し、ソーシャルディスタンスを実施し、外出の際はマスクを着用して体調管理に務めること。

・万が一現地での検査により新型コロナウイルス感染症が陽性となり出発を延期せざるを得なくなった場合は、引率教員の付き添いはなく、個人で医療機関での手続きや空港までの移動を行うことになります。その他のリスク等についても各自で対策を講じ、保護者とも十分に話し合いをしてから応募すること。

**７　プログラム費用等**

費用は、約５～１０万円の見込み（航空券、宿泊費込み。ただし個人的費用は含みません。）下記（３）～（９）は上記金額に含まれていません。

（１）研修地までの往復国内航空賃

（２）研修中の宿泊費（部屋代のみ）

（３）派遣先での移動にかかる交通費

（４）自宅から那覇空港までの往復交通費

（５）超過荷物輸送量

（６）発表等に必要な資材の費用

（７）滞在中の食費、私的な買い物費用等

（８）参加決定後の自己都合によるキャンセル料金

（９）その他、新型コロナウイルス感染症に関連する費用等（予防接種料金等）

**８　費用支援について**

**大学の国際化促進フォーラム事業による旅費支援**

本研修プログラムへの経済的支援として、派遣地域までの往復国内航空賃及び宿泊費を支援します。本支援は、本学が旅行会社等へ直接支払うものであり、学生へ支給するものではありません。実際の支援人数と支援額は、事業全体の状況により変動します。

（１）支援対象人数

５～７名程度

（２）支援対象

研修地までの往復国内航空賃及び宿泊費

（３）備考

これまで本事業から経済的支援を受けたことのない学生が優先されます。なお、大学の国際化促進フォーラム事業による支援を受けない場合でも、自費での参加は可能。

**９　応募方法**

応募者は出願期限までに次に掲げる書類をグローバル教育支援機構開発室に提出してください。応募に必要な全ての様式は以下ウェブページからダウンロードしてください。

Web page: <https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/news/>

（１）提出書類

①応募申込書　※Wordデータ形式で作成・提出すること。

②新型コロナウイルス感染症の影響下における琉球大学の国際化促進フォーラム学生交流事業についての誓約書兼同意書　※紙媒体で提出

③直近の成績表（GPAの記載があるもの。教務情報システムにログインの上ダウン

ロードしPDF形式のデータで提出すること。）

　　（２）提出期限

２０２２年１２月２１日（水）まで

（３）提出先

・①、③はデータ形式でメールに添付し提出

・②は紙媒体で原本をグローバル教育支援機構開発室に提出

琉球大学グローバル教育支援機構開発室

（担当：世界展開力強化事業事務局　セリーナ・久手堅）

場所：共通教育棟１号館１階（教育支援課内）

Email: [r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp)

**１０　選考方法**

派遣候補者の選考は、提出期限までに必要書類を提出した者について、琉球大学グローバル教育支援機構世界展開力強化事業運営委員会において書面審査を行います。また、必要に応じて面接審査を行う場合があります。

**１１　面接日時**

面接を実施する場合、グローバル教育支援機構開発室から応募者に個別で通知します。

**１２　選考結果の通知**

２０２３年１月予定

※選考結果については、グローバル教育支援機構開発室から応募者に個別で通知します。採否の決定は、書類審査及び面接審査の結果を踏まえた総合的な判断に基づくものであり、採否結果以外（不採用になった理由等）は公表しません。

**１３　派遣決定後の流れ及び留意事項について**

（１）学内選考に合格し、プログラムへの参加が決定した場合、２０２３年２月上旬に行う事前研修に参加すること。

（２）派遣が決定した学生は、派遣期間全日分の国内旅行損害保険（※医療保険とは別）に加入すること。

**１４　問合せ先**

グローバル教育支援機構開発室（担当：セリーナ・久手堅）

TEL：098-895-8092

E-mail：r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp

Webページ：<https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/>